



令和7年度

学校経営のグランドデザイン

苫小牧市立苫小牧東中学校

学校教育目標		
英知 正義 克己		
生徒の実態	15歳の生徒像	学校・地域の実態
◇ 規範意識、きまりに対する遵守意識が強い ◇ 真面目、素朴、従順、人懐っこい生徒が多い ◇ 自己肯定感、自己有用感が低い ◇ 特別な配慮を必要とする生徒や不登校傾向の生徒が多い ◇ 学力の高低に二極化が見られる	気づき、考え、主体的に学ぶことができる15歳 《目指す生徒像 小中9年間で育む3つの力》 1 自ら学び考え、正しく判断し、行動する生徒【英知】 2 自他のよさを認め、互いに支え合う生徒【正義】 3 心身を鍛え、粘り強く最後までやり抜く生徒【克己】	◇ 市内で最も長い歴史と伝統を誇る学校（S22.6.1開校、78年目） ◇ 教育に関する保護者の関心や理解に大きな差（二極化）が見られる ◇ 様々な教育課題に組織的かつ機動的に対応する協働体制がある ◇ 小中連携教育（小中併設校舎・小学校専科指導／体育） ◇ 3つ小学校から入学

育成のための3要素		
1 学びの継続 【keyword】 学ぶ意志・挑戦	2 感謝の気持ち 【keyword】 あいさつ・ありがとう	3 自己肯定感 【keyword】 やりがい・達成感

育成を目指す資質・能力			
	重点1：確かな学力の定着（英知）	重点2：豊かな人間性の育成（正義）	重点3：健やかな体の育成（克己）
知識・技能	基礎基本を確実に定着させ、学習規律がしっかりと身に付いている	基本的な生活習慣やマナーが身に付いている	運動に親しみ、健康・安全な生活を送るための基礎的な知識・技能を身に付けている
思考力・判断力・表現力等	主体的に考え、根拠をもとに筋道を立てて説明したり、表現したりする	支持的・共感的な風土をつくり、仲間とともに課題を解決しようとする	健康の保持・体力の向上を推進していくための見方・考え方を養い、実践する
学びに向かう力・人間性等	学びを振り返り、学んだことを新たな課題や生活場面に生かす	思いやりの心を大切に他者と関わり、自尊感情や自己肯定感を高め合う	互いのよさを生かして協働する力を高め、リーダーシップやチームワークを培う

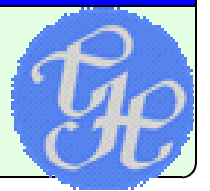
目指す学校像	学校経営の基本方針	目指す教師像
1 秩序と規律のある落ち着いた学校 2 感動と喜びが体感できる潤いのある学校 3 爽やかなあいさつと歌声が響く学校 4 地域・保護者に信頼され、地域とともにある学校	1 生徒の夢を育む ～「良さの伸長」「挑戦」 2 学校力を高める ～「教師力・組織力の向上」「やりがい」 3 地域とともにある～「見える化」「感動の共有」	1 豊かな人間性と社会性を身に付けた教職員 2 高い専門性と実践力のある教職員 3 職務に強い使命感と情熱のある教職員

今年度の重点		
生徒の良さを伸ばす！～自己肯定感を高め、出会いを大切にする学校づくり～		
【授業実践におけるキーワード】 ○ 共通取組場面 ○ ユニバーサルデザイン ○ ICT		「調和と協調」に基づくウェルビーイングを教育活動を通じて向上させてく！ ・ 獲得のウェルビーイング（自己肯定感、自己実現など） ・ 協調的ウェルビーイング（出会い・人とのつながり、利他性、社会貢献意識など）

学校教育目標の具現化に向けた重点取組事項		
確かな学力の定着 英知	豊かな人間性の育成 正義	健やかな体の育成 克己
1 「Tomakomai All-9」を踏まえた教育課程の充実（深化・新化・進化、そして真価を問う） （1）対応力と柔軟性をもった連続した学びの実現 （2）情報活用能力の育成に向けた教科等横断的な視点 2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 （1）「共通取組場面」の適切な設定（単元を通して） ・ 「見通す」「決定する」「協働する」「振り返る」 （2）指導と評価の一体化（共通取組事項を基盤として） ・ 指導したことを評価する＝評価することを指導する （3）授業のねらいを達成するためのICTの活用（手段として） ・ 共通取組場面でのICTの意図的な活用、単元デザインの工夫 （4）授業改善につながる授業アンケートの実施 ・ 生徒アンケート及び生徒による授業評価 3 学びに向かう環境の整備（学ぶ意志の育成） （1）教育環境のユニバーサルデザイン化 （2）補充的な学習と家庭学習の質的向上 （3）生徒に学びを自分事として捉えさせる工夫（学ぶ意志の育成） 4 教科指導における生徒指導・自立活動の充実	1 全教員が道徳科の指導（授業）に当たる体制の継続 （1）他領域と関連を図った全体計画に基づいた「特別の教科 道徳」の時間の推進 （2）道徳の授業における「学習テーマ」と連動する「テーマ発問」の工夫 2 学校行事等の効果的な活用 （1）ねらいを明確にした活動の厳選と工夫 （2）生徒の主体的な活動の推進と教師の意図的な働き掛け（やりがい・達成感につなげる） （3）認め合う環境づくりと「互いの良さ」の発見 3 「出会い」を大切に学ぶ学校・学年づくり（出会った人からは必要な学びがある） （1）多様性を尊重できる人間関係づくり （2）居場所・絆づくり→いじめ根絶、不登校対策の充実 4 地域の人的・物的資源の積極的な活用 （1）教育課程に位置付けた計画的・効果的な活用 5 自己実現につながる生き方指導の充実 （1）「体験活動」を重視した取組 （2）取組過程を評価する視点 ・ やりがい・達成感につながる賞賛場面の設定	1 体力及び運動能力の向上 （1）新体力テストの年間2回実施と調査結果等の効果的な活用 2 保健体育科の授業改善 （1）「投能力」の向上を目指した補強運動の工夫 （2）「Tomakomai All-9」を踏まえた連続した学びの実現 3 健康安全意識の高揚及び危機回避能力の向上 （1）地域の人的・物的資源の積極的な活用（性教育等） （2）「交通事故防止」と「避難訓練」を両輪に！ 4 体育的行事等の質的な充実 （1）体育祭の柔軟な設定と工夫 （2）スポーツ・レクリエーションの推進 （3）部活動・クラブチーム等の効果的な活用 5 望ましい食習慣の確立及びアレルギー対応 （1）地域の人的・物的資源の積極的な活用

重点取組事項の到達目標		
◇ 生徒アンケート ・ (A) 授業内容はよくわかる 90%以上 ・ (B) 授業では、「共通取組場面」の視点で自ら取り組んでいる 85%以上 ・ (C) 授業では、タブレット端末を積極的に使おうとしている 85%以上 ◇ 全国学力・学習状況調査（生徒質問紙） ・ (ハ) 1、2年の授業でタブレット等を週3回以上使用 80%以上 ◇ 授業評価 別途、研修Gから提示	◇ 生徒アンケート ・ (D) 先生方や相談員は、いつでも相談にのってくれる 95%以上 ・ (E) 「いじめ」をしないよう、見て見ぬ振りしないよう、心がけている 95%以上 ・ (F) 道徳授業では、色々な考え方に触れながら自分を見つめ直し深く考えている 95%以上 ・ (G) 学校は楽しいと思う 90%以上 ◇ 保護者アンケート ・ (a) あいさつや正しい言葉遣いができている 90%以上 ・ (b) 学校は、生徒のよさを賞賛したり自己肯定感を高めたりしている 85%以上 ◇ 全国学力・学習状況調査（生徒質問紙） ・ (イ) 自分にはよいところがある 80%以上 ・ (ロ) 先生はあなたのよいところを認めてくれる 90%以上 ◇ いじめ解消率 100%	◇ 生徒アンケート ・ (H) 将来の夢や目標をもっている 70%以上 ・ (I) 小学校と連携した取組は楽しい 80%以上 ◇ 新体力テスト 全学年2回実施 ◇ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（実技） - 男子～全国平均同等以上 3種目以上 - 女子～全国平均同等以上 4種目以上 ◇ 心の授業・性教育・薬物乱用防止教室等 年2回以上実施

小中連携教育（エリアの日の設定）		
◇ 小中の円滑な接続による「学ぶ意志」の形成 ・ 小中合同研究（小中協働の指導案検討） ・ 中学校教員の乗り入れ授業 ・ 小学校教員の学習サポート（長期休業中） ・ 中学生による小学生への学習サポート（長期休業中）	◇ 小中の円滑な接続による「豊かな心」の育成 ・ 中学校体験入学（授業参観・授業交流） ・ 児童会・生徒会合同あいさつ運動、いじめ根絶の取組 ・ 中学校合唱発表会による交流（小6） ・ 中学校校内主張発表大会による交流（小6）	◇ 小中の円滑な連携による「健康な身体」の育成 ・ 小中合同避難訓練 ・ 専科指導による加配の活用（保健体育）



※「朱書き」は新設及び変更した項目